

もっとも身近な上牧町議会

◎ 議会だより

KANMAKI

平成25年 5月1日号

第84号

目次

平成25年度予算	2・3
3月定例会	4
主な議案説明	5・6
議会基本条例	7
一般質問	8～11
議会日誌	11
議会報告会	12

〒639-0293奈良県北葛城郡上牧町大字上牧3350番地 発行/上牧町議会 編集/議会・広報委員会 TEL 0745-76-1001 (代)
FAX 0745-76-1003



初の議会報告会開催

●●●●平成25年度の各会計予算を可決●●●●

予算特別委員会は、3月8・11・12日の3日間審議を行いました。
 一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、住宅新築資金等貸付事業、
 下水道事業、水道事業の予算については、7議案すべて全会一致で原案どおり可決さ
 れました。

一般会計

108億6,824万4千円

入るお金	46億9,475万5千円	町債	予算概要(骨格)	総務費	51億3,253万円	使うお金
	25億5,100万円	地方交付税		民生費	17億3,823万1千円	
	20億3,645万5千円	町税		公債費	11億8,494万8千円	
	5億7,843万8千円	国庫支出金		衛生費	7億3,818万2千円	
	4億4,065万6千円	県支出金		諸支出金	7億868万8千円	
	1億8,856万2千円	使用料及び手数料		教育費	6億5,070万7千円	
	1億4,955万8千円	地方消費税交付金		土木費	3億34万6千円	
	8,260万2千円	分担金及び負担金		消防費	2億8,159万7千円	
	4,934万1千円	地方譲与税		議会費	1億457万4千円	
	3,331万9千円	諸収入		農林商工業費	2,343万7千円	
1,628万6千円	自動車所得税交付金	予備費	500万円			
4,727万2千円	その他※	災害復旧費	4千円			

※その他は、
 利子割交付金・配当割
 交付金・株式等譲渡所
 得割交付金・地方特例
 交付金・交通安全対策
 特別交付金・財産収入・
 寄附金・繰入金・繰越
 金

特別会計

49億7,351万5千円

国民健康保険	28億1,420万1千円
後期高齢者医療	2億4,323万5千円
介護保険(保険事業勘定)	13億8,008万1千円
介護保険(介護サービス勘定)	917万4千円
住宅新築資金等貸付事業	451万7千円
下水道事業	5億2,230万7千円

企業会計

4億3,641万4千円

水道事業 (収益的収入)	4億3,641万4千円
-----------------	-------------

一般会計予算

平成25年度予算は、町長選挙のため骨格予算となっている。

予算総額は、108億6,824万円で、前年度に比べ37億4,191万円の増で、率にして52.5%の大幅な増額予算である。

平成25年度末までに上牧町土地開発公社を解散させるため、開発公社の銀行からの債務について代位弁済するからである。

歳入では、町税全体で約3,232万円の増額、地方交付税は400万円の減額、国庫支出金は2億2,129万円の減額となった。

歳出では、人件費が7.2%の増、扶助費が1.5%の増、公債費は7.2%の減で11億8,494万円となり、義務的経費全体では0.8%の増となった。一方で投資的経費は、大型店舗出店等に伴う道路建設の終了により、7億3,842万円の減。特別会計繰出金は6.2%増で5億1,254万円となった。

主な内容

○土地開発公社債務保証経費

43億円

・第三セクター等改革推進債を活用する。

○コンビニエンス・ストアへの
収納委託経費

40万7千円

・コンビニで税金等の支払いができる。

○乳幼児等医療費助成事業

3,200万円

・対象年齢を9歳児まで拡大し、所得制限を撤廃する。

○未熟児養育医療事業

68万円

○子宮頸がん等ワクチン接種費用助成事業

2,491万円

○日本脳炎予防接種事業

1,388万円

○道路整備事業

6,000万円

○滝川台1号線歩道整備工事

650万円

○上牧小学校耐震化事業

1,073万円

○学校プール濾過装置改修事業

799万円

○学校・地域パートナーシップ事業

249万円

○文化財保護事業

1,190万円

・久渡古墳群（松里園）の第4次発掘調査を行なう。

特別会計予算

国民健康保険特別会計

予算総額は28億1,420万円

で前年度比1億7,046万円、6.4%の増額となった。

税率改正により、国保税は5億8,196万円の前年度比4,099万円の減、前期高齢者交付金で3,923万円の増額である。

保険給付費は、19億7,492万円の前年度比1億4,130万円の増である。

後期高齢者医療特別会計
予算総額は、前年度比11.3%増の2億4,323万円。75歳以上の被保険者は、2,643人で前年より156人の増で、後期高齢者保険料は1億7,729万円。広域連合納付金は2,201万円増の2億3,561万円である。

介護保険特別会計

第5期介護保険計画では、平

成24年度から26年度までの3年間の保険給付費は、39億1,981万円。65歳以上の月額保険料（基準額）は4,900円。平成25年度予算総額は、13億8,008万円。保険給付費は13億1,067万円。地域支援事業費は3,664万円計上され、配食見守り事業委託料は232万円である。

住宅新築資金等貸付事業特別会計
予算総額は451万円。貸付金元利収入は、449万円計上。平成25年度は繰上償還を行わない。基金残高2,028万円。

下水道事業特別会計
平成25年度の下水道事業建設は、骨格予算のため未定である。平成25年度末の町債残高は4億7,153万円。

水道事業会計

平成25年度の収益的収入は、水道料金の値下げのため3,765万円減の4億3,641万円である。給水戸数は前年度より44戸増の6,861戸を予定。

骨格予算のため水道建設事業等は未定である。

3月定例会

3月5日～15日(8日間)

上牧町議会基本条例の制定・上牧町水道事業給水条例の一部改正、副町長の選任、補正予算など33議案が審議され、その結果、33議案すべて原案どおり可決・同意されました。

また、13日・14日に7名の議員が町政全般について一般質問をしました。

本会議審議 (5議案)

- ◎上牧町政治倫理審査会委員の選任
- ◎上牧町固定資産評価審査委員会委員の選任
- ◎上牧町議会委員会条例の一部改正
- ◎上牧町議会会議規則の一部改正
- ◎副町長の選任

委員会審議 (28議案)

総務建設委員会

- ◎上牧町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ◎上牧町まちづくり基本条例検討委員会条例の制定
- ◎上牧町町道の構造の技術的基準を定める条例の制定
- ◎上牧町町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定
- ◎上牧町移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準を定める条例の制定
- ◎上牧町都市公園条例の一部改正
- ◎上牧町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定
- ◎上牧町下水道条例の一部改正
- ◎平成24年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2回)
- ◎平成24年度一般会計補正予算(第7回)
- ◎米山新町線道路改良工事請負変更契約の締結
- ◎平成24年度下水道事業特別会計補正予算(第3回)
- ◎上牧町議会基本条例の制定

文教厚生委員会

- ◎上牧町子ども・子育て会議設置条例の制定
- ◎上牧町保育の実施に関する条例の一部改正
- ◎上牧町水道事業給水条例の一部改正
- ◎平成24年度介護保険特別会計補正予算（第3回）
- ◎平成24年度水道事業会計補正予算（第2回）
- ◎上牧町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定
- ◎平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3回）
- ◎ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書（案）

予算特別委員会

予算特別委員会では、平成25年度予算を3月8・11・12日の3日間にわたり、慎重に審議を行いました。

◎平成25年度予算

- 一般会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 住宅新築資金等貸付事業特別会計
- 水道事業会計
- 国民健康保険特別会計
- 介護保険特別会計
- 下水道事業特別会計

主な議案説明

▼上牧町まちづくり基本条例制定検討委員会条例の制定

上牧町まちづくり基本条例（仮称）の制定に当たり必要な調査、検討等を行なう委員会が設置されます。

▼上牧町子ども・子育て会議設置条例の制定

市町村が子育て支援のニーズを把握し、27年度をめどに、子ども・子育て支援事業が拡充されます。

▼上牧町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

新型インフルエンザ及び

急速なまん延の恐れがある新感染症が発生した場合、対策本部が設置されます。

▼上牧町水道事業給水条例の一部改正

水道料金が4月1日より1㎡につき10円値下がりしました。家庭用の基本料金についても月150円値下がりしました。

▼上牧町議会基本条例の制定

議長を除く議員11名の共同提案により、全会一致で可決しました。（詳細は7ページ）

▼上牧町議会会議規則の一部改正

木内議員より、5名の賛

成議員と共に提案があり、
原案どおり可決しました。

1億9,436万1千円
基金残高
7億925万4千円

が選任されました。

太田尾義慶さん(再任)

▼副町長の選任について

次の方が選任されました。

田中 一夫さん(新任)

大橋貴美子さん(再任)

滝川台1丁目

服部台4丁目

西田久美子さん(新任)

桜ヶ丘1丁目

▼ブラッドパッチ療法の保

林 智良さん(再任)

伊丹市中央

陰適用及び脳脊髄液減少

檜垣 祥次さん(再任)

友が丘2丁目

求める意見書

前田 春樹さん(再任)

大阪市北区

長岡議員より、1名の賛

吉田 武仁さん(再任)

片岡台3丁目

成議員と共に提案があり、

・小学校施設整備事業債

7,260万円

米山新町線道路改良工事請

負変更契約の締結について

米山新町線道路改良工事

の期間が変更されました。

▼上牧町固定資産評価審査

・上牧(役場下)交差点渋

滞対策工事

310万5千円

▼上牧町政治倫理審査会委

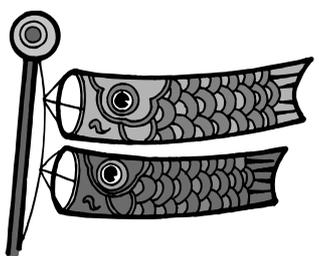
・財政調整基金積立金

員の選任について

任期満了に伴い、次の方

川本 克己さん(新任)

友が丘1丁目



議会基本条例を制定しました

(1) 基本条例の目的と考え方

上牧町議会は、選挙で選ばれた議員12名で構成されており、その運営は「地方自治法」や町条例、議会会議規則などの制度を根拠に行われています。この他にも議会としての申し合わせや約束ごとが多くあり、これらを重ねあわせて議会が動いているのが実態です。町民の皆さんから「議会は何をしているのかよく分からない」とか「議会はほんとうに必要なのか」といった声も聞かれます。

今回、議会基本条例を制定することになった理由の一つは、こうした町民の疑問に応えるためです。議会のあり方や議員の活動指針などを条例として明文化することによって、町民から見て「分かりやすく開かれた議会」を目指そうというものです。それによ

って町長と併せ二元代表の一翼である議会を少しでも知って頂き、皆さんの声を町行政に反映させたいと願っています。

もう一つの理由は、議会の行政に対する監視機能をさらに強化することです。上牧町の土地開発公社が経営破たんしたことに関し、23年11月の外部監査で「議会に監視機能が働いていなかった」との指摘を受けました。これを受けて、24年3月議会で「議会改革に取り組む決議」を全議員で行いました。4月に「議会改革検討委員会」を設置し、どうすれば議会としての機能を高められるのか、取り組んで来ました。その成果の一つが議会基本条例の制定です。

(2) 基本条例の特徴的な内容

・第5条（町民参加及び町民との連携）では、町民参加に

よる議会運営を行うためのルールを定めています。議会は町民の代表機関であるとし、町民への情報提供と説明責任を規定しています。それをもとに町民の意見を議会の政策提案に出来るだけ反映させようというものです。

・第6条（議会報告会）が明記されました。年1回以上の開催を規定しており、単に報告するだけでなく、町民の声を議会審議に反映させるのが目的です。

・第7条（議員と町長等執行機関の関係）で、議会審議を巡る基本的なルールを決めています。第3号で議員は議会閉会中でも行政一般について、議長を経由して町に対して文書で質問が出来るようにしました。これは国会議員だけに認められた「質問趣意書」に準じたものです。これは定例会ごとにも本会議で行われる「一般質問」の常設版といえるもので、うまく活用すれば議会として大きな武器になります。

す。

・第8条（議会審議における論点情報の形成）では、町長が議会に提出する政策等について、議会として十分な審議を尽くし、併せて町民への公開を図るため財源措置や費用対効果など7つの説明を求めるところです。これを的確にやっておけば、財政早期健全化団体への転落や土地開発公社の破たんを事前に防止できたものと思われれます。

・第16条（議会広報の充実）では、議会広報が重要だと位置づけ、情報技術の発達を踏まえた多様な広報手段として、これまでの議会だよりと議会ホームページ、モニター中継に加えて、議会の本会議並びに委員会のインターネット中継を検討しています。また過去の中継履歴についてもアクセス出来るように取り組む予定です。この実施には相当な設備費が必要であり、この条例を根拠に予算要求を進めたいと考えます。

ここが聞きたい

一般質問

公会計制度の運用開始を求める

堀内 英樹議員

質問 公会計制度（※）導入について23年3月議会の一般質問で「その必要性を十分認識し導入への準備を進めて行く」との答弁があった。その後の進み具合はどうか。

答弁 総務部長 当初の計画では24年度に公会計制度による財務書類を作成する予定であったが、少し予定より遅れている。既に新公会計制度のソフトを入手しており、25年度中には完成させたいと考えている。ただ行政財産を除く普通財産の一部で、その確定作業とデジタル化事業が遅れている。先ず近隣市町村と同様に行政財産を対象に、決

算を行う方針である。

質問 町が持っている土地の確定とデジタル化が遅れているのが実態だ。「暫定版」でよいから、町長2期目の初仕事として是非やって頂きたいが、どうか。

答弁 町長 片方で資産（普通財産）の確定作業が遅れており、それが「まとまらなければ、やれない」というものの考え方は、5年先になってしまおう。先ず分かっている行政財産（役場、学校、公民館、道路など）から始めて、住民の皆さんに公開して行く。今まではコスト計算（行政サービスにかかる費用の算定）をやって来なかったが、公会計制度を導入することで可能となる。やれるものから、しっかりと進めて行く。

学校防災について教育委員会に問う

辻 誠一議員

質問 東日本大震災では、釜石市立の小中学校の「釜石の奇跡」と「大川小学校の悲劇」が対象的な話題となり、大きな犠牲を払いつつ教訓を残した。地道に訓練を継続してきた学校は全員無事で、行政・教育委員会の指導の悪かった学校は全児童108人のうち74人が死亡・行方不明となり、その責任が問われている。一方、奈良県教育委員会は平成18年に「奈良県学校地震防災教育推進プラン」を策定している。

上牧町教育委員会はこのプランをどのように受け止め、どのようにに学校・幼稚園に指導しているかお聞きする。

答弁 教育長 その趣旨である学校防災の防災計画や防災教育については、把握している。難訓練の実施はどのようか。

答弁 教育部長 それぞれ実施している。

質問 各学校で防災計画書が

あっても、実際になればどのように行動すべきか不安であるという先生方の声がある。昨年、王寺町、広陵町、大和郡山市では、教職員を対象に、研修会を行い、クロスロードゲームで、実践的なケーススタディを行っている。教職員を対象に学識経験者をご招待し、研修を行うことを提案するがどうか。

答弁 教育部長 25年度には、それらを参考に、何らかを行いたい。

大型店舗の出店

質問 店長とのその後の協議は。

答弁 都市環境部長 店舗数は60店舗強で出店案内はする。雇用は700〜800人くらい。災害時への協力は総務課と詰める。奈良交通は決定しているが、路線系統を詰めている。開業は今年秋。

本当に財政は良くなったのか

服部 公英議員

質問 土地開発公社解散に伴う三セク債借入れについて、私も苦渋の選択ではありましたが、第三セクター等改革推進債の起債に係る許可申請に賛成しました。これも上牧町再生のためです。今後のスケジュールと解散に伴う諸課題について説明してください。

答弁 土地開発公社常務理事 今後の予定については、議会の議決をいただきましたので、三セク債許可申請をして、借り入れ予定額を通知した後起債許可を得て、三セク債を借入れ、代位弁済により金融機関へ公社が借りていたお金を返します。その後町より求償権行使があり、公社から現金及び代物弁済をしてもらい町が債権放棄をして、解散手続きの開始となります。

質問 平成20年に早期健全化

上牧町の投票所の見直しについて

康村 昌史議員

質問 投票所の見直しのパブリック・コメントは、どうだったのか。

答弁 総務課長 四件ありすべて反対意見。①高齢者への配慮不足②投票所が遠い。

質問 行財政改革の投票所案は①拙速すぎる。②住民目線の欠落。と思われる。

答弁 総務部長 投票所は公共施設とし、バリアフリーや駐車場の施設とした。

質問 パブ・コメの意見を尊重するのか。

答弁 総務部長 後日上牧町選管が開催される。

質問 総務省は、開票所等の選挙事務費の適正化を要求。投票所の見直しは求めている。①投票所までの距離約2km②投票所の有権者数二千から四千人とした根拠は。

答弁 総務課長 昭和44年の自治省選挙部長通知を参考。

質問 その通知によると、過大投票区（投票所の有権者数が三千人超）は、約三千人を限度として投票所の分割を要求。今回三箇所も三千人を超過。

- ① 服部・滝川・ゆりが丘 3,207人
- ② 新町・三軒屋・葛城・五軒屋 3,974人
- ③ 片岡台地区 3,409人

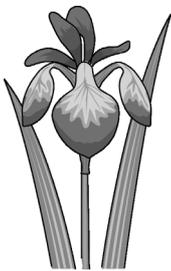
これらは、その通知に矛盾し、高齢者の投票権利も奪っている。投票所案の見直しを。

答弁 総務部長 選管で決定される。

ボランティアのミニ・デイサービス

質問 医療・介護等の費用を抑制するために保健予防は重要。現在、ボランティア団体「ふくふくの会」が滝川台で活動。毎週火曜、午前10時から3時まで自立支援のサービスを提供。会費は1回千円。手作りの昼食も提供。（参考要介護2の方が一般のデイサービスを利用する場合、昼食代と約8,500円の費用が必要。）

答弁 上牧町には、このようなボランティア団体がある。感想は。住民福祉部長 素晴らしい。応援しなければならぬ。



答弁 住民福祉部長 介護保険のお世話になるまでの方に、介護予防サービスのご案内及び、介護予防するための教室を開催しています。

質問 地域包括支援センターの活動内容について教えてください。

答弁 町長 まだ厳しい財政状況だと認識しており今後も十分に注意して行きます。

質問 町長 まだ厳しい財政状況だと認識しており今後も十分に注意して行きます。

すべての人々にとって住みよいまちに

富木 つや子議員

質問

子どもや女性、障がい者や高齢者にとって住みよいまちは、すべての人々にとって住みよいまちであると考えます。

町長は、子育て支援や高齢者の生きがいづくりに積極的に取り組むとお考えですが再スタートにあたり、住みよいまちづくりについて今後の取り組みは。

答弁

町長 少子化対策では、子育て環境の充実は有効である。子どもの医療費助成については、財政状況をみながらまず、小学校3年生から6年生まで拡充し、中学生は入院部分を26年度で実施する予定。また、発達障がいのある教育として「ことばの教室」を25年度の開設に向け現在、準備をしている。今後は、特色のある幼稚園教育の実施を考えている。

質問

高齢者の生きがいづくりは。

答弁

町長 今後は、シルバーク世代の意見や経験を参考に「協働と参画」の視点から、高齢

者にも各委員会に参加していただき、高齢者が地域で元気に暮らせる方策と一緒に考え取り組んでいく。

安心が基本の学校環境について

質問

いじめや暴力などの問題が深刻化する中で、教育機能を再生向上させることが求められています。いじめの対策強化と体罰の実態は。

答弁

教育部長 調査でいじめを受けたと答えた生徒には、いじめ内容の聞き取りを行い、いじめと判断されたら全教職員が共有して解決に取り組んだ。その結果、現在はずべて解消している。小学校のスクールカウンセラー設置についても県に働きかけていく。また、体罰の実態調査は、3月に実施したが結果はまだである。平成24年度では、学校からの体罰の報告は教育委員会にはなかった。

胃がん検診にピロリ菌検査・子宮頸がん検診にHPV(感染を調べる)検査の導入を

長岡 照美議員

質問

胃がんはピロリ菌の感染症と最近の研究で分かりました。これまでは胃潰瘍や、十二指腸潰瘍に限って医療保険が適用されてきました。今回、症状の軽い胃もたれや不快感などの慢性胃炎治療でのピロリ菌除菌にも保険が適用されることになりました。毎年12万人が胃がんと診断され、約5万人が亡くなっています。ピロリ菌を除菌すると、胃がんの発生をおさえることができます。ピロリ菌検査の導入について伺います。

答弁

住民福祉部長 ピロリ菌が原因で胃がんを引き起こすことは明らかです。導入については十分検討を行ってまいります。

質問

子宮頸がんの原因ウイルスに感染しているかを調べるHPV検査があります。厚労省は今の検査より異常を見つけやすいとされるHPV検査の導入を試験的に実施します。上牧町での導入について伺います。

答弁

住民福祉部長 厚労省

質問

上牧町での導入について伺います。

答弁

環境課長 この度王寺町の県施設に測定器が設置されます。

大気汚染物質PM2.5について

質問

上牧町での微粒子物質PM2.5の情報等はどのようにされるのか伺います。

答弁

都市環境部長 県から情報が提供された場合、周知については今後検討していきたい。

質問

奈良市、天理市にPM2.5の測定器が設置されています。上牧町の正確な測定数値の把握は。

答弁

環境課長 この度王寺町の県施設に測定器が設置されます。

「仕組み債」で損失5億円 政府参考人は「認められていない」と承知している」と答弁

木内 利雄議員

質問

上牧町も加盟している県市町村総合事務組合が、資金の一部をリスクの高い金融商品「仕組み債」に投資し、元本割れで約5億円の損失を出したことに關して伺う。この件に關しては昨年12月議会でも質問、その時に同組合の管理者である小城・斑鳩町長が「損失は基金全体の収益でカバーできる」とコメントしているが、その数字的根拠の説明を求めるとともに、外部監査制度を導入して精査することを求めた。それに対して、今中町長は「組合に確認する」と答弁。そこで、同組合に確認した内容について報告、答弁を求めらる。

また、外部監査の導入についても、必要ではないかと強く申し入れを行った。その結果、先般行われた同組合議会で監査委員の定数を改正の上、外部監査を導入することが決定されたようである。

(木内)「金融商品取引法等の一部を改正する法律案」が審議された第171回国会の参議院・財政金融委員会(平成21年6月11日開会)では委員の質問に対して、政府参考人の佐村知子氏は「運用の結果として元本割れを生じるような手法というのは(地方自治法第241条の2項等に明記されている)確実な運用とはいえないので、そもそも認められていないと承知しております」(参議院会議録)と答弁。

よって、県市町村総合事務組合は仕組み債を販売した証券会社を提訴し、損失金の返還を求めるとともに十分に説明責任を果たすことが必要であると申し上げておく。

議員研修を拡充

上牧町議会基本条例に「議会の研修の充実」を盛り込みました。これは議員の政策形成及び立案能力の向上を図り、議員個々に研修を進めるためです。

議会として、これまでも委員会単位の行政視察等を実施して来ましたが、今回、これに加え、各分野の専門や町民を講師とする研修会も年1回以上実施することにになりました。

さらに、多様な住民ニーズに応えるためにこれまでの議員研修に加えて、議員個々においても自らのテーマについて調査、研究ができるように工夫された制度です。

地方自治法の「政務活動費」と違い、議長の承認のうえ、執行することになっています。研修に対する経費は研修費、資料代、旅費を対象に議員1人年額5万円を限度とします。

報告書や資料の提出が義務づけられ閲覧請求があった場合は、直ちに閲覧できます。

議会日程

(1月)	
6日	町消防団出初め式
7日	広報委員会
8日	全員協議会
11日	広報委員会
14日	町成人式
17日	広報委員会
19日	北葛城郡町議会議長会 北葛支部連合出初め式
21日	第1回議会報告会
24日	西和消防組合議会 財政問題特別委員会(第22回) 議会改革検討委員会(第10回)
(2月)	
5日	議会運営委員会
8日	全員協議会
14日	王寺周辺広域市町村圏議長会 全員協議会
15日	議会改革検討委員会(第11回)
18日	葛城地区清掃事務組合議会 国保運営協議会
21日	北葛城郡町議会議長会
25日	(3月)
1日	議会運営委員会
5日	第1回定例会(初日)
6日	総務建設委員会
7日	文教厚生委員会
8日	予算特別委員会
11日	12日 予算特別委員会
13日	一般質問(4名)
14日	一般質問(3名)
15日	第1回定例会(最終日)
21日	広報委員会 災害に強いまちづくり特別委員会(第3回)
22日	財政問題特別委員会(第23回) 議会改革検討委員会(第12回)
26日	奈良県町村議会議長会定期総会 王寺周辺広域市町村圏協議会
27日	王寺周辺広域市町村圏協議会

初の議会報告会を開催



会場風景 2000年会館多目的ホール

上牧町議会は、これまで「議会が真に機能していなかったのでは」、「チェック機能が果たされていなかったのではないか」、また「住民との対話が十分なされていない」といって指摘を多数いただいております。また議会自身の反省からも、平成24年3月議会で「議会改革に取り

組む決議」を全員一致で採択しました。

議会として、できることから実行するために、住民に対する全議員による議会報告会を開きました。

第1回目の議会報告会は、25年1月19日(土)午後1時30分より、2000年会館多目的ホールで約80名の参加者がありました。

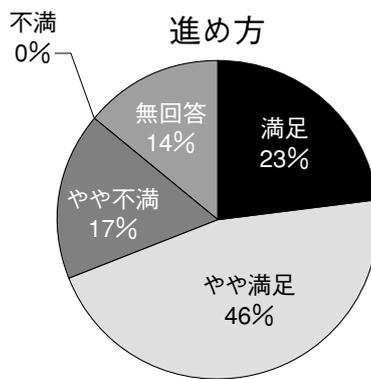
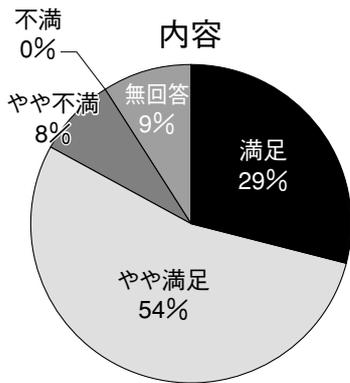
- 議会からの報告テーマとして
1. 土地開発公社の解散に向けた第三セクター等改革推進債の借り入れについて
 2. 議会基本条例(案)について
- を取り上げました。

その後、質疑応答に入り、活発に、厳しいご意見も出しましたが、概して皆様方が今置かれている上牧町の行財政の状況を良くご存知で、前向きなご意見も頂きました。

報告会終了後にアンケート調査を行いました。結果、内容や進め方について、7割から8割の方が満足・やや満足で、第1回目とし

では、議会としての役割を果たすのではないかと思います。また、開催回数については、年2回が最も多く、その後に議決した議会基本条例では、原則として毎年1回以上行なうとしました。皆様と情報共有や意見交換をして、ご意見を政策形成に反映していきたいと考えています。

アンケート結果



**5月の臨時会は
5月10日開催予定**
第1回上牧町議会臨時会
平成25年5月10日(金)
午前10時から

・議会運営委員会
平成25年5月8日(水)
午前10時から

春3月町長選挙が行われ「財政再建」を進めてきた今中富夫町長が再選を果たした▼財政難で不在であった副町長を置き「協働と参画」を掲げスタートした▼2040年までの「地域別将来推計人口」が公表され上牧町も人口減と▼魅力ある町づくりで人口増に!

(N)

編集後記

0745-76-1001
0745-76-1003
広報委員会

委員長 石丸 典子
副委員長 長岡 照美
委員 辻 誠一
委員 康村 昌史
委員 富木つや子
委員 服部 公英